

やみうちき通信

270号

11月20日現在
子ども会員：92人
正会員：38人
賛助会員：233人
27団体

A wide-angle photograph of a theater audience from an elevated perspective. The seating is arranged in rows, with many people wearing red and black clothing. In the foreground, a large red and green graphic features the Japanese character '百' (Hundred) and the text '福本ヒデ FUKUMOTO HIDE'. On the stage, a man in a dark suit is gesturing with his right hand. The background shows a wooden wall and a green exit sign. In the top right corner, there is text in Japanese: '賛助会員: 233人' and '27団体'.

福本ヒデ FUKUMOTO HIDE

百面相

ソロライブ SOLO LIVE

commodo
fringilla ji
dia

tor tortor eros, ut aliqui
libero sit amet quam

A man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie with diagonal stripes, stands on a stage. He is holding a silver microphone in his right hand and speaking. He is looking slightly to his left. The background is a warm-toned red wall. In the top right corner of the image, there is a white, stylized graphic of a person's head and shoulders, facing right. The stage floor is a light-colored wood.

しりたがり	02
おとな塾	03
特集～福本ヒデソロライブ百面相～	04～05
若者のお・し・ご・と	06～07
ティーンズ+	08

やまもと かずこの 知りたがりやまとトーク

秋本番、楽しみにしていた福本ヒデ ソロライブも地域のお祭りもゼーんぶ終わり、なんとなく寂しい感じの今日この頃ですが、みなさんいかがお過ごしですか？ 私の方は、文化の秋を満喫すべく、久しぶりに本格的な舞台劇「チ。一地球の運動について一」を鑑賞。3時間があつという間の素晴らしい舞台でした。

最近コンサートに行く機会は増えたものの、舞台劇には、とんとご無沙汰。そんなときに今回のチラシが友の会から届きました。そもそもがミーハーな私は、それを見た瞬間、窪田正孝、三浦塔子、森山未來…有名人がいっぱい出るじゃん！とチケットをすぐに手配。NHK 総合でアニメをしているところくらいは知っていましたが、全く予習もせず、内容がわからないまま観に行きました。後で調べてみると、2020年～2022年まで「ビッグコミックスピリッツ」で連載されていたこと、15世紀のヨーロッパを舞台に、禁じられた地動説を命がけで研究する人間たちの生き様と信念を描いた魚豊（うおと）氏によるフィクション作品であることなどがネット上で紹介されていました。

幕が上がり、いきなり異端審問官役の森山未來登場。軽快なステップで、舞台上を右に左に。これから、異端者を拷問しに行くというのにやけに上機嫌。その演技が、余計に拷問の残酷さを際立たせると同時に、すでにイカレている設定？ とこちらの想像力までも掻き立てるのだから、凄い！ キャストの素晴らしさは言うまでもありませんが、他にも黒子ダンサーの流れるようにしなやかなコンテンポラ



リーダンス、さまざまに見立てられるよう工夫されたシンプルな舞台装置や小道具たち、大量に焚かれたスモークとそこへ照準を合わせた数々のマッピング。すべてが狙い通りだったことでしょう。中でも一番の驚きは、舞台上で雨を降らせたこと。YYYでもこれまでたくさん舞台に取り組んできましたが、呉信用金庫ホールで水を使っていいなんて、知らんかった～。とにかく、一瞬たりとも目が離せませんでした。感動が大きすぎて何をどう伝えたらいいのか、悩ましい～。

また、パンフレットがカッコいい！！裏表紙に書かれているのは「命を捨てても曲げられない信念があるか？」「世界を敵に回しても貫きたい美学はあるか？」との胸に刺さるような問いかけ。そこまで、自分を追い込む人間って、どんな人？って考えてみる。戦時中に特攻を志願した若者たち？！「働いて働いて…」との志を口にした日本初の女性首相？！などなど考えさせられることもいっぱいの舞台公演でした。



Nextあとな塾



アップデート版

呉のやぶに見る文化の生態系

講師：堀口悟史さん
(堀口海運株式会社 代表取締役社長)

【日 時】12月11日(木)19:30～
【場 所】生涯学習センター507
【参加費】1200円
※事前にお申込みください。

笑い『ヨガ』でストレス解消、 免疫力アップ！UP

10月のおとな塾第2弾は、田中隆子さんを講師にお招きし、新たなストレス解消法を伝授していただきました！

まず皆さん「笑いヨガ」をご存知でしょうか。インド発祥の笑いとヨガを組み合わせた健康体操で、血行促進・筋肉をリラックスさせる・脳の活性化・ストレスの解消などなど、心と身体によい効果をもたらしてくれるそうです。創設者はインドのお医者さん。科学的根拠に基づいた健康法なんですって。

さて、今回のメニューですが、とにかく笑って笑って笑いまくる！ヨガって言うくらいだから、体を伸ばして優雅にストレッチしながら笑うのかな～と想像していましたが、実際に体験してみると、ヨガという名の新たなレクリエーション！という印象を受けました。嘘笑いから始まったのに、いつの間にか心からの笑いになるって、そんなことある～？と疑われるかもしれません、本当だったんですよ！私も最初は半信半疑でしたが、自分がそうな



っていることに気づいたときは衝撃的でした。それと、このヨガをしているとだんだん身体がポカポカしてきて、血行促進効果もすごく感じられました。冷え性の方にもってこいじゃないかなと思います。

最後には参加者一人一人が講座の感想を発表しました。「ずっと嘘笑いをすることになるかと思っていたが、心の底から笑えた」「幸せな気分になれた」など、いろんな感想が聞けました。

毎回、おとな塾では初めてをたくさん経験させてもらっていますが、今回も WAKU×WAKU のレクリエーションにつなげられそうという閃きがありました。

日常が楽しくなる！ パッケージと色の世界

11月は OFROSK DESIGN WORKS 代表のクボタナミさんを講師にお招きして、「パッケージ」のデザインについてお話をいただきました。

私たちは生活の中でさまざまなパッケージを目にするが、どんな意図が込められているのでしょうか。その答えは、それがどんな商品で、どんな気分で手に取ってもらいたいのか、短時間で顧客に読み取ってもらうこと！また、棚に並ぶたくさんの商品の中から選んでもらうためのきっかけになる役割も。たしかに、最近はデザインを重視して商品を買う「パケ買い」なんて言葉もありますからね…。そしてこのデザインの方向性を決める上で重要なのが「その商品が誰に向けたものであるか」、ということ。例えば、子ども向けの商品は賑やかなデザインであったり、ちょっと贅沢したい人向けのものであれば上品なデザインだったりします。

パッケージデザインの何たるかを教えていただ



いた後は、各々持参した商品のパッケージデザインを分析。色やイラスト、レイアウトに注目してみると、発見があつて楽しかったです。皆さんの発表も、自分とはまた違う視点からの意見で面白いな～、と感じました。中でも印象強かったのが い・ろ・は・す。水の産地によってパッケージの文字が若干変わったみたいです。全く知らなかつた…。

クボタさんの講座は今回で2回目。前回と同様にとても面白い内容で、また受けたい！と思いました。皆さんもぜひ、普段のお買い物の中でもパッケージデザインに注目してみてください。

(文：110番 高2/フォト：わかめ 高2)

福本ヒデソロライブ

百面相



今回はソロライブ！当然いつもの「ザ・ニュースペーパー」の舞台とは違い、着替え、メイク直しはどうするんだろう？全然想像がつかない。それだけに期待いっぱい！楽しみで仕方なかった。

当日は、待ち時間から楽しんでもらおうと「福本ヒデ風刺画ミニギャラリー」コーナーを作った。『コメをまく人』『火に油を注ぐ女』など、名画をパロったポストカードを展示。「おもしろい！」「これ、いいわあ」と購入する人も。早くも気分は福本ヒデの世界！

いよいよ開演！「ザ・ニュースペーパー」のテーマ曲が流れる中、石破前首相に扮したヒデさんが颯爽と登場。待ってました！白目でどこ見てるの？ぶっきーだけど、どことなく可愛いイシバさん。その何とも言えない味わいに、思わず吹き出しちゃった！「私、普通のおじさんなります」とマイクを置くラストシーンはベタだけどおもしろい。その後、おもむろに舞台上手に置かれた机につくともう「福本ヒデ」の顔に戻ってる！トークをしながらメイクを落していく。「ひとりですからね、楽屋も見

せます」みんなの前で大変身！そう来たか！

「みなさん、今年の忘年会でぜひどうぞ」と白髪まじりのカツラをかぶり、手に証書らしきものを持って壇上へ。パッと開きパタンと閉じて退場する場面は、何も言わなくても「ああ～あの人ね」。続いてサイトウ知事に、十八番のアソウ副総理、ここでしか演らない初の女性○○サナエ、と話題の人が登場。ソックリなわけではないのに、立ち振る舞いや仕草・特徴が、「そうそうそんな感じ！」。イメージとピッタリすぎて、笑わざにはいられない！

名画のパロディをスライドショーにして、画伯としての一面も披露。題名のつけ方が絶妙で、皮肉たっぷりな解説は「座布団 10 枚！」。ソロならではの広島弁おじいさんや大阪万博ミヤクミヤクのコントもあり、ザ・ニュースペーパーでは見られないヒデさんの新しい面が続々。

終演後には、サイン会に長蛇の列。「久しぶりに、こんなに笑った」「大笑いしてスッキリした」と談笑しながら、皆さん帰路につかれていた。



たくさんの高校生に参加してほしい！と、呉市内9つの高校を訪問し、チラシ配布とボランティア募集のお願いに。チラシだけでは、なかなか参加してもらえない。そこで当日のボランティアスタッフを募り、スタッフをしつつ公演を観てもらう作戦！うれしいことに22名の中高生から応募があり、もぎり・会場案内そして最後の片付けまでを担当してもらった。お客様から「高校生の丁寧な声かけが嬉しかった。対応がよかったです」との声を多く頂き、本人たちからも「たくさんの人と話ができ、いい経験ができた」などの声が聞かれた。私たちがこうなったらしいなと思い描く形になって、本当に嬉しい。今年度のYYYのテーマ「もっと！もっと！もっと！子どもの出番をつくるよ！」に沿う活動となった。

11月12日(水)19:00～新日本造機ホール

参加者およそ400名



～会場の声～

もっと政治が分かったら、面白く見れたかなと、思った。
でも楽しかったです。

(高校生)

とても楽しかったです。福本ヒデさんの多才さに驚くばかりです。あつ
という間に時間が過ぎました。ニュースペーパーもいつも観に行っています。高校生がとても感じ良かったです。

(おとな)

丁寧に案内していただき、気持ち良く席に着きました。
面白すぎて時間が大変短く感じました
妹について参加させていただきましたが、面白いだけでなくシニカルで非常に良かったです。ファンになりました。ライブのみならず、絵はがきの絵が大変ツボで、大笑いさせて頂きました。これからも頑張ってください！応援しています。

(おとな)

* * * * *

横山アナも駆けつけてくれた!

観に来てもらえば絶対に満足してもらえると自信を持って勧めるものの、平日の夜ということで誘いかけに苦戦。諦めモードになりかけたけど、理事をはじめ周りの人たちに、具体的な数字で助けを求めた。するとSNSでの新たな情報発信や、協力者の動きが生まれた。会場が新日本造機ホールだったことも功を奏した。呉市役所の1Fという立地のためたくさんの人との往来があり、会場の準備をしていると「今日は何があるの？」と声をかけてくる人が

結構いて、当日券につながった。

さらに、公演直前、ヒデさんがRCCラジオ「ごぜん様さま」にゲスト出演。横山雄二さんと呉公演のことを話してくれたことも後押しとなり、1階席はほぼ満席。最後まで諦めないで、できることを考え続けること、周りの人にきちんと情報を伝え、コミュニケーションしていくことの大切さを実感。学びの多い事業となった。

(鑑賞部)

若者の… お・し・ご・と 想い続けたら叶った! 科学館のおしごと

科学館で科学ショーを行うという一度は諦めてしまっていた夢がここで叶いました。私が働いているのは「佐賀県立宇宙科学館 ゆめぎんが」という施設。初めてステージに立った時のお客様のわくわくした表情が今も忘れられません。

業務は科学ショーだけではなく、ワークショップの企画、展示物の製作や設置、企画展の準備等、初めて挑戦することが数多くありました。

その中で「自分のしたいことをしていいよ」と、いつも先輩は私に言っていました。最初の工作内容は何をしたらよいか分からず困っていましたが、先輩の姿を見ているうちに「私もこれをやってみた



い」とアイデアがいくつも生まれてきました。先輩に提案すると、「いいね!」と言ってくれ、「こうしたら上手くいきそう!」と一緒に考えてくれました。試行錯誤してできたワークショップで、お客様の楽しんでくださっている表情を見ると、もっと挑戦してみたいことが増え、わくわくしながら毎日働いています。

次は毎年春に展示される「ビーコロ装置」の製作に挑戦したいと考えています。スタッフそれぞれが自分のテーマで1台ずつ装置を作るのですが、より多くのお客様にビー玉を転がして楽しんでいただけるようなものを製作したいです。

ここではスタッフがいきいきと働き、お客様も楽しそうに体験してくださり、自分も楽しいです。常に挑戦することで人生が豊かになっていくのを感じます。自分らしさを見つけることもでき、この仕事ができて本当によかったなと思いました。

最後に、「ゾンビランドサガ」の映画のタイトルに「ゆめぎんが」が登場します!

みなさん、ぜひご来館ください! (れな)



おしごと体験 × 伝統芸能 !? キッズ

日本の伝統文化のおしごと体験やるよー!
それぞれの地域にある伝統文化のこと、小学校で習うよね!地元のものだけじゃなく、テレビでしか見たことのないものも、ここでなら体験できるかも!
「はたらく」ってどんなイメージ?パソコンをカチャカチャしたり?工場で機械を動かしたり?髪を切ったり?病気の人を治したり?……それだけじゃない!ずっと昔から技を磨き続けてきた伝統文化。地域の顔といえるものもあるよね!ぜひ、体験してみてね!



秋の果物は林檎派のなつです。私が大学を卒業し、就職を機に大阪で一人暮らしを始めて半年、気づけば秋です。洗濯物を部屋干しにするか否かを毎度伸るか反るかの勢いで悩んではいますが、一人暮らしも板についてきたと思います。

今回はお仕事についてお話しします。私はホテルに就職し、ホテル内の喫茶店舗に配属されました。お客様から見える仕事としては接客やドリンク製作をしています。棚卸や食品の発注など外から見えない業務も2~3ヶ月前から任せてもらえるようになりました。“ホテルで働く”と聞くと接客業をイメージされると思いますが、同じくらいかそれ以上に外から見えない仕事が多いです。入社半年の身なので、自分が見えているのは氷山の一角だと思いますが、勤めている店舗で例を挙げると、次の限定ドリンクのレシピ製作や備品の選定、労働時間の管理や経理への書類提出等々…。就職前から漠然と、表でお客様と直接関わる仕事以外にもたくさん仕事があるんだろうなと思っていたのですが、働き始めてその多さに改めて驚きました。

万博についてもちょっと触れようと思います。なぜ、ちょっとなのかというと、特に“駆け込み万博”で来場者が増えた会期終盤は宿泊客も増えたため、宿泊に関わる部署や朝食ビュッフェを運営している店舗はとても忙しそうだったにも関わらず、私の勤めている店舗では万博期間と、そうでない時とあ



まり変わらないらしいからです。「らしい」なのは私が入社後研修から店舗配属までの間に万博が始まったので、そうではない期間を現場で体験したことが無いからです。ただ、常に感じていた薄っすらとお祭りのような雰囲気が無くなったり、だんだんと愛着が湧いてきていたコースターやフラッグのミヤクミヤクがいなくなるのはちょっと寂しいなと感じています。

これまでの半年があつという間だったように、あつという間に2ヶ月が過ぎて一年のうち、一番繁忙期のクリスマスと年末年始が来ると思います。その前に、私のいる店舗ではフレンチのミニコースがついたアフタヌーンティーの提供が始まるなど、目の前に沢山の未体験のことがあってドキドキしていますが、秋の美味しいものを食べて元気を補充しながら頑張っていきます！(なつ)



チャレンジエキスポ

12/27(土)

10:00-16:00

広まちづくりセンター

11/27より申込スタート！



ティーンズ+plus

呉青山高等学校 ドローン部

ドローンサッカーのひみつ

上空から写真や動画を撮影したり、災害時に緊急物資を運んだりというイメージだったドローン。そのドローンでサッカーをする部活があるらしいと聞いて、取材に行ってきました！

応じてくれたのは、呉青山高校 2 年生で部長の三登さんと、同じく 2 年生の岩橋さん、顧問の小島先生と、外部講師を務める瀬野さん。5 年前に瀬野さんが「ドローンを教えさせてほしい」と学校に掛け合ってできた部は、現在高校生 7 人と中学生 6 人の部員で、毎週水曜と金曜の 16 時から 2 時間、学校の物理室で練習しています。ドローンサッカーとは、球状の枠(サッカーボールのような網目状)に入ったドローンを操作し、ゴールを通過させる競技。5 機対 5 機のチーム戦は、そのうち 2 機ずつのストライカーと呼ばれる攻撃ポジションが相手チームのゴールを通過することで得点となります。

実際に飛ばしてもらうと、精密な飛行に思わずスゴーイと拍手！ゲーム機のそれに似たコントローラーを体験させてもらいましたが、数センチ上のゴールを狙うのにあっちへ飛んだりこっちへ飛んだり。思いのままに飛ばせるまでには岩橋さんも相当練習したとか。部活はとても楽しいそうです！



韓国で行われたワールドカップ



■発行日:2025年11月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵

■発行元:特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目 11-12PANビル3F

■連絡:0823-24-5646 ■WEB:<http://kure-yyy.org>



5 月にワールドカップ出場を目指して全日本選手権を戦いましたが惜敗。しかし、これまでの経験や、ドローンサッカーの普及に貢献していることが認められ、9 月に見事、韓国 の地に立つことが叶いました。開催地は、2002 年に日韓 FIFA ワールドカップが行われたスタジアムを擁し、ドローンサッカー誕生の地とも言われる全州市。バタバタで観光する暇もなかったそうですが、世界のチームと戦ったことは、貴重な経験となった様子。

「SEAGULLS」というチーム名はカモメから。部員それぞれが持ち寄った候補の中から「夢見る新たな道を切り拓く」という鳥言葉で決まったそう。

今後は 12 月 13 日にイオンモール広島府中スターギャラリーで行われる TSS 杯に出場。ほかにも、体験会を行うこともあるので、ぜひ行ってみてください。応援しています！

(まゆまゆ)



地元企業の協賛も

